

# すくわくプログラム推進事業実践報告書 2025年6,7,8,9月

所在地	東京都新宿区戸山 1-21-1
施設名	しんじゅくいるまこども園

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・ 樹液や葉、枝など興味のあるものの観察

<テーマの設定理由>

- ・ 公園の木についていた樹液を発見し、採取してきた後、「中がどんなになっているか見てみたい」という子どもの意見をもとに活動を行う。
- ・ その後、登園降園中に気になった自然物を持ち込み、子ども同士で見る様子が見られた(7月、8月、9月)

## 2. 活動スケジュール

- (6月) 虫眼鏡や顕微鏡、マイクロスコープを使って、樹液の中はどうなっているのか見てみる。
- (7, 8, 9月) 子どもたちが気になるものを持参し、マイクロスコープを使い、細部を観察する。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 公園で採取した樹液
- ・ 顕微鏡
- ・ マイクロスコープ
- ・ iPad
- ・ 虫眼鏡

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 公園で採ってきた樹液を顕微鏡や虫眼鏡で見てみる。
- ・ その後、自分たちで観察したいものを持ち寄り、観察する。
- ・ iPad

## <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・まずは虫眼鏡で見てみると、色やなかに見える黒い点などを発見し、「これなんだろう！」や「なんか黒いの見える」などと、子どもたちで話す様子が見られた。
- ・マイクロ스코プのピントを合わせて、表面を観察したり、光に当てて透明な様子を見たりなど、色々な方法を試しながら観察する様子が見られた。
- ・7, 8, 9月と観察したいものを持参し、観察する様子が見られた。使い方にも少しずつ慣れてきて、自分の見たいものを見ることが出来ていた。また、子どもたちで教えあう様子も見られた。
- ・いろいろなものを見ることで、興味が広がっていく様子が見られた。

### 保育者の関わり

- ・用意した虫眼鏡の使い方を伝えて、子どもたちが自由に観察できるようにする。
- ・「光にあててみたらどう？」「こっちの顕微鏡だとどう見えるかな」などと声かけをし、観察のやり方についても色々な方法があることを伝える。
- ・今後も気になるものがあったらみんなで見られるような環境を整えた。

活動が分かる写真 2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用してください。)



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・観察のためマイクロSCOPEを使って表面の様子は見られたが、中の様子を見るところまでのピント合わせが難しそうだったため、次回はスライスしてみても良いと思った。
- ・「公園の樹液を持ち帰ってみたい！」という子どもの気持ちから発進した観察だったため、少人数での開始となったが、「私もみたい！」と興味を持った子が集まって結果的にいろいろな子が観察に参加することが出来てよかった。
- ・常設ではないが、マイクロSCOPEで観察ができるということを子どもたちが知ったことで、6-8月だけでなく、自分の気になるものを観察できる環境にすることができて良かった。